

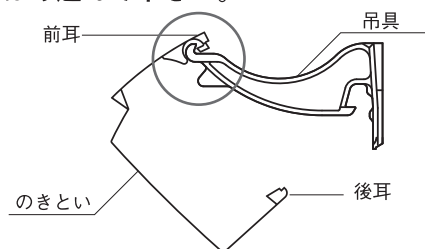


### 使用上のご注意

- 吊具・吊金具固定用の釘、木ネジは3ヶ所必ず固定して下さい。
- 自在式の蝶ネジの締め付けに工具は使用しないで下さい。(破損の恐れがあります。)
- 自在式施工後は蝶ネジがしっかり締め付けられていることをご確認下さい。
- 積雪、強風地域での「取付けピッチ・収まり」は必ず『施工・技術ガイド』を参照して下さい。
- ブラケットへの接着剤の塗布や付着、塗装、防腐剤の塗布などは、ブラケットを劣化させる恐れがありますので行わないで下さい。
- 有機溶剤(ベンゼン・トルエン・アセトンなど)が付着する可能性のある場所では使用しないで下さい。

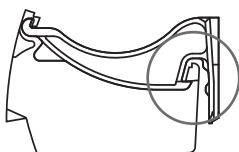
### 2 のきといの取付け (例: ブラケット固定式+軒といT120)

- 1) のきといの前耳をブラケット吊具先端にはめ込んで下さい。



※前耳がきちんと掛かっていることをご確認下さい。

- 2) のきといの背面側を押し上げて後耳をはめ込んで下さい。



※後耳がきちんと収まっていることをご確認下さい。

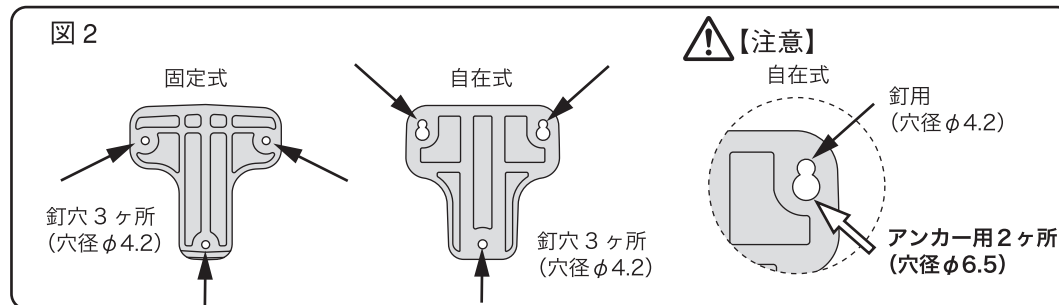
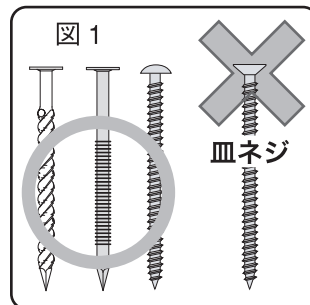
### 1 ブラケットの取付け

- ブラケットの取付けピッチは『施工・技術ガイド』を参照して下さい。

※住宅会社様での取付けピッチは、各住宅会社様の仕様書に従ってお使い下さい。

- ブラケットの取付け固定はスクリー釘、リング釘、タッピングネジ等をご使用下さい。(皿ネジは吊具の性能を低下させるおそれがありますので使用しないで下さい。)[図1参照] (φ3.5×50mm以上をお勧めします。)(アンカー用はφ6.0をお勧めします。)(ブラケットの取付けの際は、軒先の構造、材質を確認してビスの仕様を確定して下さい。)

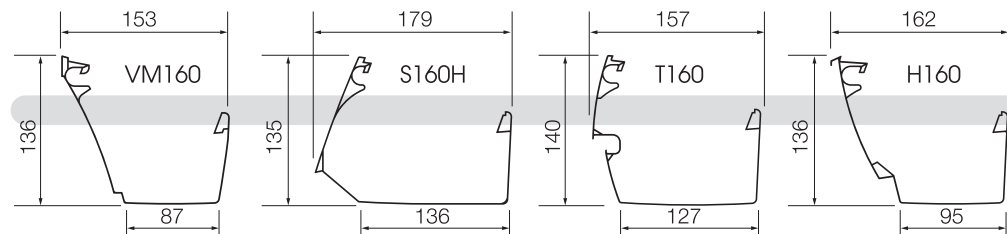
- 釘は3ヶ所とも打ちつけて下さい。(アンカーを使用する場合は2ヶ所固定)[図2参照]



### 3 製品の特徴

- 共通のブラケット吊具で、異なる形状ののきといを使用することが可能です。

160ブラケット固定式



120ブラケット固定式

